

光市医師会報

I am a Doctor



Physician

No 165

昭和61年 6月発行
光市医師会

医師会月間行事

理事会 5月13日

- 1、第103回定例代議員会報告
 - 2、第92回周南医学会準備委員会について
実行委員長(竹中)、準備委員長(板垣)、特別講演係(竹中・板垣・富恵・福本・中村琢)
一般講演係(富恵・板垣・藤原)
PR 渉外係(梅田・藤原)
印刷・看板係(中村・丸岩)
昼食関係(福本・近藤)
 - 3、61年度老人保健法に基づく、健康診査および診査費について
 - 4、健康教育依頼について
 - 5、外来人間ドッグについて
 - 6、学校保健理事会(会長・福本先生となる)について
 - 7、労働保険事務組合に対する助成措置について
- 例会及び研修会 5月27日

- ・税務研修会
講師 大木強史税理士
演題 「一人法人」
「相続税」について
節税の基本的な考え方、法人と個人の税金の仕組み、法人のメリットとデメリット、相続税についてとその対策等について
- 例会

- 1、第103回定例代議員会の報告
 - ・生涯教育・県医師会費・日本医師会費等について、また協議会事項についての報告

- 2、医師会長会議報告
 - ・保険再審査請求様式について
 - ・労災の治療に関して
 - ・産業医関係＝メンタルヘルスケアについて
 - ・老人保健法に基づく、胃癌検診のあり方について、かけ込み増床について
 - ・新研修手帳について
 - ・山福KK・株主総会報告 以上会長より
- 3、郡・市保険担当理事協議会報告(中村琢美理事)
- 4、学術担当理事より生涯教育自己報告について
- 5、市立病院における症例報告(板垣理事)
- 6、広報原稿依頼



学術担当
富恵 哲

生涯研修の一手
段として、光市医
師会では、会員が
出来得る限り学会
へ出席して頂く目

的でバスをチャーターして、ゆっくりと寛いで出かけられるように企画してみました。第1回目の萩市での県医学会には20名の出席で、担当としては、予想外の出席率に驚いた次第です。

只々、申し訳なかったことは、混雑を予想して、早朝、それも日頃起きられないような時間に出発したことです。意に反し、日曜日なので道路は空いており、時速60キロ以上のスピードでスイスイと走れたのです。自分で運転している時には気付かなか

った中国山脈の山の緑、緑の蒼さが目に沁みました。「素晴らしいな、うまい空気だな」と云われた大野先生の言葉に、緑の蒼さに目を見張りました。お陰で、萩へ着いたのが予定より1時間前。相談した挙句、萩観光と洒落れた次第です。松蔭神社で勉強が良く出来ますように!?!と祈ったり、東光寺で毛利家の苔蒸した古い墓を眺めたり、勉強以外の収穫もあったように思います。

午後のパネルを真面目に聞いて、さて、萩を出発。平田県医師会長がバスを見て、光医師会が大挙して勉強に来たことに吃驚したのでしょうか、数日後、県医師会で藤野常任理事に会ったところ、「光は、すごいですね」と感心していました。

帰りのバスの中は福本副会長の担当で、疲れて、しわの増えた脳味噌を、ビールでうるおしました。カンビールを飲みながら、談笑!! 談笑!!

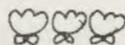
会員同士の久し振りの話し合い。疲れも吹っ飛び、翌日の診療も、楽しく出来たのではないかと思っています。

会員のH先生、「昨日のバスでの学会出席は良かった。願わくば、名物のうまいものを食べさせてくれれば、もう云うことなし」と云われたとか…………。

研修担当の理事としては、嬉しい言葉です。勉強して、会員同士の親睦も出来、その上一日をのんびり寛げる企画を、今後も続けたいと思っています。

学会への出席を会員諸兄へ、改めて御願います次第です。

良き勉強するアイデアが有りましたら、担当まで。



うちかたの先生、

— 渡辺先生の巻 —

渡辺貞雄、58才、違いのわかる男……なんて、どこかのCMみたいだけれど、そうなんです、うちかたの先生は、知る人ぞ知る、かの有名なミュージシャン・ナベサダと同じ名前なのです。



— NABESADA —

とは云っても、タイプはまったく違います。ここでは、あえて2人の違いは云いません。たとえば、ナベサダはスリムで都会的、ファッションセンスもまあまあで、ジーンズの似合う、俗に云うナイス・ミドル!! かつ、うちかたの先生・^{ナベ}渡辺 / ^{サダ}貞! はジャズに対抗し、体に似合わず、大唄ならぬ小唄を少々たしなみ、近所の迷惑も知ってか知らぬか返りみず、夜な夜な練習に励んでいるとかいないとか。服装と云えば、家では「本人曰く、今や、巷で話題のロング・パンツ(ステテコ)」で、自慢の肉体美をおしげもなくさらけだしているとか…………。

しかし外見はともかく、うちかたの先生は、するめはかめばかむほど味がでてる



ように、知れば知る程人間味あふれ、ジョークのわかるステキな先生です。この間も、お腹の痛かった患者さんが先生のジョークで笑いすぎ、よけい痛みがひどくなってしまったり……。こんな調子で、診察中も笑いの絶えない明るい雰囲気、病院内はいつも、オレたちヒョーキン族ならぬ、ヒョーキン族の世界です。もちろん、タケちゃんマン役は、うちかたの先生・サダちゃんマンです。ところが、相手がプロパーとなると、仏のサダちゃんが鬼のサダオに大変身！トオッー、大変シビアになるのです。



また私達職員に対してはどうかと云うと、ある時は優しく、ある時は厳しく、しかし決して厳しいだけでなく、相手の立場を考えた暖か味のある叱咤激励をしてくれる先生です。タンスにゴン、先生いなくて留守がいい、なんて心にも思っていない。

これからは、好きなお酒を控え目にして、患者さんのためにガンバッテ下さい。本当にいたらない所ばかり目だつ私達、先生の太い御足を両手で引っ張っている職員一同のこと、よろしくお願い致します。そして、何よりも大切な美人の奥さんと息子さんのためにも体に充分気をつけて、毎日の診察頑張ってください。

最後にカケフコールならぬ、サダオコール「頑張りや〜!! 医者 of サダちゃん!!」

お洒落

吉村 明人

ある日予防注射に出務中、梅田先生と目が合った。悪い予感がした。「医師会報に原稿をお願いします」。予感的中である、「お洒落」について書いてくれとのことであったが、お洒落談義をする程深い造詣は持ち合わせていない。

広辞林によれば「お洒落とは身なりに気をくばること、美しく着飾ること」とあり、他の本には『江戸の遊女の間から生れた言葉で、身なりをきれいに着飾ることで、遊女の意(オシヤラク)・(オサラク)から(オシヤレ)と変化したもの』とある。



若い頃から、着飾ることは大分凝っていた。特に、ネクタイとシャツは少々集めた。デパートの紳士物売場を見て歩くのが好きで、終日店内にいても飽きることはなかった。買い物に行くのではなく、眺めに行くのである。そのかわり、気に入った物があれば幾らでも買う、いわゆる衝動買いである。しかし、高価な物は買わない。安い物を多く集めて色々組み合わせるのである、これが大変難しいし、楽しみでもある。

病院に勤務していた頃は、ネクタイとシャツを毎日変えて行った。まず、半月は同じ物をしていかなかった。当直の時などは、翌日着用の物をバックに入れて持って行っていた。勤務先の職員に「一体、ネクタイを何本持っておられますか？」とよく聞かれていた。その都度、答は「実は白いネクタイを3本持っていて、毎日子供が色を塗りかえてくれる」である。こんな調子であるから、色とりどりの派手な服装をする。ゴルフの時などは、衣裳合わせに更に拍車がかかる。ラウンドするのも無論楽しいが、それ以上に衣裳選びの方が楽しかった。キザな格好をして、グリーン上をうろうろしたものである。生来のお洒落好きに加え、女性の多い職場と云う特殊性が更にエスカレートさせたのであろう。

しかし現在は、昔の面影はまったくない着たきりスズメの毎日である。自家営業になってから、お洒落をする気持とフトコロ具合に余裕がないのも事実であるが、職場が家庭内にあるため、我が家でお洒落をする気がおこらなかった。その内だんだん無関心になり、今では、お洒落をしていないことすら気にならなくなった。

日常診療すべてに云えることだが、独りで診療所に閉じこもっていると、前向きな姿勢に欠けるようになり、無気力になっていることに気付かなくなる。これではいけないと思うが、すでに無気力になっているので迷案があっても名案はない。

せめて遊女と同じで、中味はなくても身なりだけはきれいに着飾ってみるか。会員の皆さんに「顔の悪さを衣裳でカバーしている」と云われるのがオチのようである。

旧友の思い出

田村 勝司

5月の終り、大阪より1通の葉書が届いた。英語塾経営のO氏からである。O氏は家族3人の旅行一家というよりは、狂に近い旅人なのである。

7年前、家族単位の東南アジアツアーに参加し良き親友となったO氏は、アジア・北米・南米等、また今回のペナンのためにツアー参加したそうで、通価・買い物・食事等慣れたもので、小生家族一同は、ただびっくりするばかりで、生涯の思い出の一つとなった。今回のオーストラリアの旅のおさそいも、小生は1日1日が当直で、2年後を期して再会をと、返事を出した次第です。

その頃、京城より1通のクリスマスカードが届いていたが、うっかり返事を出さず機会を失い、旧友の一人をなくすに致りました。

旧中学4年間一緒のクラスで、勉学・勤労学徒として共に行動した、金学哲その人なのである。来年こそは韓国を訪ねて、旧交を暖めたいと思っている。

写真は、ペナンの幸福を招く寺であります。幸福寺、とっています。



嫁いだ娘への手紙、

とみえ さとし



大松たまみへ！

お父さんからの手紙は随分久し振りで、多分、大学生の時以来だろう。

早いもので、お嫁に行ってもう4ヶ月になるが、まだ、時々、たまみが家へいるような錯覚に襲われる。元気で、新しい生活に馴れるように努力していることと思う。少しは、若奥さん振りが板についたかな？

先日、大松のお父さんから電話で、新家庭をお彼岸に訪れた所、ぼた餅を御馳走になったと喜んでおられた。お菓子屋で幾らでも買える御時世に、わざわざ小豆を炊いて、ぼた餅を父親のために作ってくれる心根が嬉しいと。一人娘を嫁に出して、その後、貰った息子の嫁なので、新しい娘のように可愛くて仕方がないのであろう。嬉しそうに喋っている大松さんの声を聞くと、少しばかり羨ましい。いや、嫉妬かな？

アルバム of 古い写真を眺めながら、たまみの小さい頃を振り返って感傷に浸っている。よくぞ、ここまで育ててくれたものとお母さんや、お世話になった方への感謝の

気持ち一杯である。先日、お父さんの誕生プレゼントの中へ入っていたメッセージに「どんな縁で、世界で只一人の素晴らしい男性に巡り会えたのか。その上、優しい御両親に可愛がられる幸せを、神に感謝したい」と云う言葉がしたためてあったが、お父さんも一緒に、たまみに幸せを授けて下さった神へ、お礼を申し上げたい。

写真のように、ほっぺた・チューをしてくれるような初孫が出来たらどうなるかなと、一人で悩んでいる。お母さんは、絶対「おばあちゃん」とは呼ばせないと頑張っているが、お父さんも嫌だな!! 「おじいちゃん」と呼ばれるのは。その時は、どうしよう? 「グランパ」とでも呼ばせようかな。



たまみは、お嫁に行くと、だんだん両親が遠くなると話していたとか? 親に取っては淋しい言葉だが、これも順繰りの世の慣いかも知れない。お母さんがここへ嫁いで来た時、実家の父上も喜びと一緒に、同じような耐えがたい淋しさを感じられたことだろうと思う。年頃のたまみが嫁に行かないと気になるし、いなくなると淋しいなんて御託を並べているのは、勝手な親心なのかな!!

何れにしても、お父さんの願いは、由治君との幸せな家庭を作ってくれること。そして、大松家の良き愛される嫁であってほしい。時には、お父さんとお母さんのことをちょっぴり思い出してもらいたいものである。『たまみの幸福』を祈っている!!

お父さんより

P.S (娘の嫁ぎ先の父上は、医学部で私の2年先輩です。)



S61・5・18(日) 於周南C.C

S61・6・8(日) 於周南C.C



両日共快晴に恵まれ、皆さんさわやかな汗を流されました。5月はヤクルト杯とのことでしたが、賞品の用意がなく、優勝された前田先生、HDこそさがらなかったものの、ボヤクことしきり。6月は森本先生が優勝され、新HDは、森本Dr 8・藤村

Dr 6・諏訪Dr 12となりました。

また、博多への遠征ゴルフも11月にあるとのこと。それまでの間、小生もティショットとアプローチにもう一工夫をと思っております。諸先生方、再会の日を楽しみに!!

5月18日

Name	out	in	Gross	HD	NET	Order
諏訪	46	42	88	15	73	準優勝
森本	51	49	100	18	82	6位
竹中	63	53	116	25	91	9位
道上	60	61	121	30	91	10位
守田	45	47	922	13	79	4位
光武	45	51	96	18	78	3位
前田	50	46	96	25	71	優勝
国本	59	53	112	28	84	8位
藤村	47	44	91	10	81	5位
高橋	56	66	122	25	97	11位
富恵	56	52	108	25	83	7位

6月8日

Name	out	in	Gross	HD	NET	Order
森本	39	43	82	18	64	優勝
河内山	49	48	977	16	81	7位
横山	46	48	944	16	78	5位
佃	51	55	106	24	82	9位
竹中	55	50	105	25	80	6位
高橋	50	51	101	25	76	4位
道上	60	55	115	30	85	10位
大野	53	49	102	15	87	11位
藤村	37	42	799	10	69	準優勝
諏訪	43	41	84	15	69	3位
国本	53	57	110	28	82	8位

DC 河内山 横山

NP 高橋 佃

あ と が き



6月13日(金)、山口県地方もいよいよ梅雨入りしたようです。もともと、あてにならない予報(と私は思う)なのですが、この言葉はジメツとして、いやな雰囲気をただよわせます。

ただし、今月号が皆さんの御手元に届く頃には、もう梅雨明けの雷がゴロゴロ鳴っているかも知れません。

今月の光医師会の最もホットなニュースは、「生涯教育バス」の運行開始でしょう。富恵・板垣両理事のアイデアは、

まずもって大成功でした。

私は、萩へ行くとき間違っ近藤先生の横に座ってしまい、大変苦しい思いをしました。あとで、彼も同じことをブツブツ漏らしておったとか……。

7月になったら、第2回生涯教育バスが運行されるとか。また思い切り早起きして、早朝観光後勉強という、富恵スタイルでいきますか。しかし、山口は見るところが多いので、5時起きでは遅いのではないのでしょうか?

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社